

第5章 保守と点検

5-1 保守部品と交換方法

予備のユニット

SYSMAC の故障発生時すみやかな修復作業を行うため、常に予備のユニットをご用意ください。

CPU ユニットの電池の交換方法

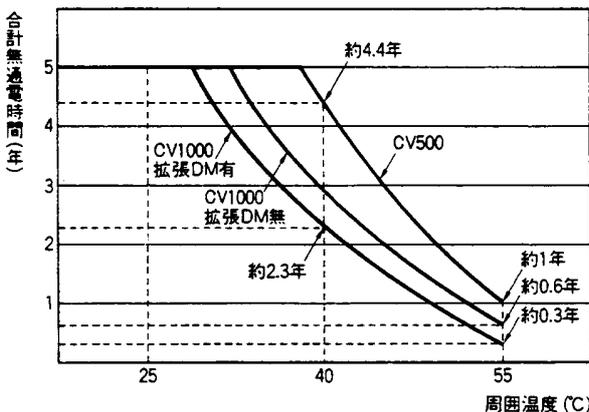
電池寿命と交換時期

- 電池の有効期間 (= 最大寿命時間) は、CPU ユニットへの通電、無通電の時間によらず5年間です。
- CPU ユニット無通電時のメモリバックアップ時間は、周囲温度により異なります。また、拡張 DM ユニットの有無によっても異なります。(CV1000)
- メモリバックアップ時間の保証値(min.)、実力値(typ.)と、周囲温度、拡張 DM ユニット有/無の関係を以下に示します。

形式	電池の有効期間	無通電時のメモリバックアップ時間	
		保証値	実力値
CV500 CVM1-CPU01	5年	9,000 時間 (約1年)	43,000 時間 (約5年)
CV1000/2000 CVM1-CPU21 拡張 DM 無 CVM1-CPU11		5,600 時間 (約0.6年)	
CV1000/2000 CVM1-CPU21 拡張 DM 有		2,900 時間 (約0.3年)	

保証値：周囲温度 55 における無通電時のメモリバックアップ時間

実力値：周囲温度 25 における無通電時のメモリバックアップ時間



- メモリバックアップ時間を過ぎると、CPU ユニットの「ALARM」LED が点灯します。周辺ツールを接続して「異常読出」を行い「デンチジョウ」で、特殊補助リレーA42615 が ON であれば、CPU ユニットの電池を交換してください。
- 「ALARM」LED 点灯後、1 週間以内に新しい電池と交換してください。

交換用電池

名称：バッテリーセット

形式：形 C500-BAT08

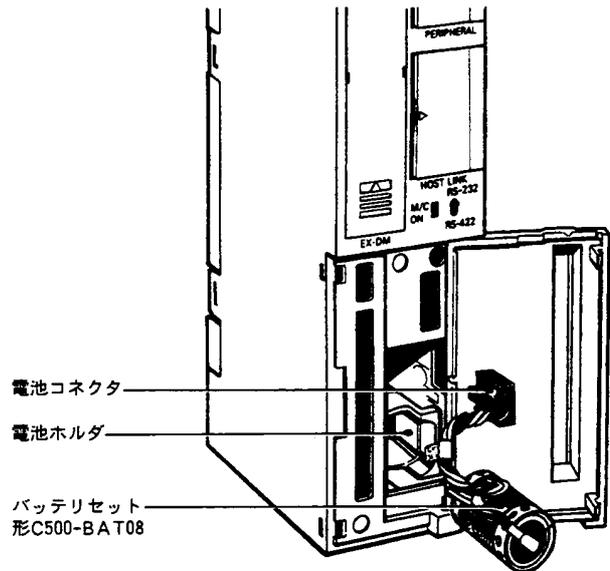
電池の交換方法

電源を OFF にしてください。

最初から電源が入っていないときは 10 秒以上一旦電源を投入した後、電源を OFF にしてください。電源 ON 時の交換もできますが、ショートしないよう十分ご注意ください。

バッテリー収納部のカバーを開けてください。

電池はコネクタごと引抜き、新しい電池と交換してください。交換は 5 分以内に行ってください。



カバーを閉じてください。

周辺ツールを接続し、「デンチジョウ」を解除します。

または電源を入 切 入しますと解除できます。